申込方法

受講申込書に必要事項を記入し、あいぽーと徳島まで郵送またはFAXにてお申し込みください。
※第1次締切：**平成28(2016)年7月8日㈮**まで。以降は、随時募集します。
※ 原則として全8講座の受講となりますが、1回のみの受講も可能です。

問い合わせ先

あいぽーと徳島　TEL 088−664−3719
〒770−0873　徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル内

キ リ ト リ セ ン

送信先　あいぽーと徳島　　FAX 088−664−3727

人権教育啓発リーダー養成講座　受講申込書

ふりがな				
名　　前				
所　属　名				
住　　所 （所在地）	〒			
連　絡　先 電話番号				
受講希望の テ　ー　マ	☐ ８講座すべて受講			
	☐ 第１回 7/21㈭	災害と人権	☐ 第５回 11/10㈭	労働問題と人権
	☐ 第２回 8/18㈭	沖縄と人権	☐ 第６回 12/15㈭	インターネットと人権
	☐ 第３回 9/9㈮	刑を終えた人の人権	☐ 第７回 1/19㈭	障がい者の人権
	☐ 第４回 10/7㈭	同和問題（現地研修）	☐ 第８回 2/16㈭	依存症と人権
意見・要望 （講師への質問等）				

この申込み書にご記入いただいた個人情報は、本講座以外には使用しません。

平成28(2016)年度

人権教育啓発リーダー養成講座

開催要項
受講生募集

あいぽーと徳島では、県民一人ひとりの人権が尊重される社会づくりのため、地域課題に即応した人権教育啓発の推進者となる人材を育成する講座を開催します。

「一人ひとりが夢ある未来のために　さあ　出発しよう」

主　催　あいぽーと徳島
徳島県立人権教育啓発推進センター
指定管理者　特定非営利活動法人
ヒューマンライツ文化・福祉ネットワーク

対象者　市町村の人権教育啓発担当者及び人権教育啓発に関する団体に所属する方

会　場　沖洲マリンターミナルビル･マリンホールほか

定　員　30人程度

受講料　無　料

内　容　様々な人権問題の解決に向けたポイントや、先進的な取り組み事例などを学ぶことができます。また、基礎的な内容から専門性に富んだ内容まで、みなさんの多様なニーズに応えられるよう講座内容を設定しました。

講　座　内　容

第1回

平成28(2016)年 7月21日(木)13:30～15:30

場所：マリンホール（沖洲マリンターミナルビル2階）

「様々な人権」〈災害と人権〉

テーマ　**それでも、海へ　陸前高田に生きる ーいつも心にお陽さまを。**

16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、カンボジアを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害を取材。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録しています。TBS「サンデーモーニング」にコメンテーターとして出演中です。

講師：安田 菜津紀さん
フォトジャーナリスト

1987年神奈川県生まれ。上智大卒。studio AFTERMODE所属。12年、「HIVと共に生まれるーウガンダのエイズ孤児たちー」で第８回名取洋之助写真賞受賞。防災士資格取得。

第2回

平成28(2016)年 8月18日(木)13:00～16:00

場所：ろうきんホール（中央テクノスクール内）

「様々な人権」　※映画「沖縄／大和」上映含む

テーマ　**沖縄の文化と歴史**

映像の勉強のため上京し、和光大学に入学。沖縄を離れ本土に出てアイデンティティーに直面し、大学卒業制作で、「『内地の人』と沖縄人の間にひく『ライン』は何なのか」という自らを問いかける作品として、ドキュメンタリー映画「沖縄／大和」を制作しました。現在も映像作家として展覧会への映像出品や、ドキュメンタリー制作などを沖縄で活動中。「大魂込み」という映像作品を出品し、約１ヶ月摩文仁の平和祈念資料館で展示を行いました。

講師：比嘉 賢多さん
映画監督

1991年沖縄生まれ。和光大卒。
14年、監督作「沖縄/大和」が、なら国際映画祭NARA-WAVE部門の最優秀作品賞を受賞。ぴあフィルムフェスティバル、京都国際学生映画祭、座・高円寺ドキュメンタリー映画祭などで上映される。

第3回

平成28(2016)年 9月9日(金)13:30～15:30

場所：マリンホール（沖洲マリンターミナルビル2階）

「刑を終えた人の人権」

テーマ　**刑務所出所後の「居場所」と「出番」の確保にむけて**

社会的排除によりセーフティネット状態になっている刑務所での処遇や、出所後の社会復帰に向けた取組と、高齢者や障がい者などの権利保障や尊厳を尊重するため、刑事司法システムや生活支援制度をフランスと比較しながら研究しています。今後は、刑務所出所者の声に基づくガイドブックの作成と市民向けの刑務所の世界を知るためのワークショップを実施する予定です。

講師：安田 恵美さん
國學院大學法学部専任講師

2007年福島大卒。09年から大阪市立大学で刑事政策を研究。13年、同大学で法学博士取得。15年から同大学都市研究プラザ特別研究員、及び現職。大阪府地域生活定着支援センター特別相談員。

第4回

平成28(2016)年 10月7日(金)12:30～15:30

場所：八尾市桂人権ふれあいセンター（現地研修）

「同和問題」

テーマ　**同和問題と人権のまちづくり**

私たちには夢があります。一切の差別撤廃です。すべての市民が安心して暮らしていける社会の実現に向かって、八尾市人権協会は活動しています。人権に関して、教育・啓発、調査・研究、相談、政策提案など様々な活動を市民のみなさんとともに行っています。市民相談事業を中心として、就労支援や生活支援、多くの在住外国人のための多言語情報誌の発行など、差別のない人権のまちづくりの実践を案内します。

講師：藤本 高美さん
（一財）八尾市人権協会副理事長

1956年生まれ。
03年～八尾市人権協会理事。
11年～（一財）八尾市人権協会副理事長。
13年～（一財）八尾市人権協会事務局長。
15年～（一財）八尾市人権協会就労・生活相談員。

第5回

平成28(2016)年 11月10日(木)13:30～15:30

場所：マリンホール（沖洲マリンターミナルビル2階）

「人権全般」

テーマ　**労働問題における世代間格差**

中部圏社会経済研究所は、中部広域９県（富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀）を対象エリアとする総合的・中立的なシンクタンクとして、「ものづくりの中枢圏域」としての中部地域の産業経済の発展とそれを支える地域の魅力づくりに資する調査研究、普及啓発、支援事業などを積極的に展開しています。
また、少子化、高齢化が経済・社会・政治に与える影響について研究しています。

講師：島澤 諭さん
（公財）中部圏社会経済研究所
経済分析・応用チームリーダー

1970年富山県生まれ。東大卒。94年旧経済企画庁入庁し、01年内閣府退官。退官後、大学教員等を経て、12年(公財)総合研究開発機構主任研究員。15年から現職。

第6回

平成28(2016)年 12月15日(木)13:30～15:30

場所：マリンホール（沖洲マリンターミナルビル2階）

「インターネットと人権」

テーマ　**インターネット社会と人権**

ハイパーネットワーク社会研究所は、よりよい情報社会をめざし、地域における情報基盤の利活用について調査研究、普及啓発活動を実施しています。
ネットトラブル相談対応など、すべての人が安心してネットを利用できる社会構築のため注力すると同時に、国内外の最先端科学技術を視野に地域の複合課題に取り組むため、横断的で体系的な地域ネットワーク型コミュニティ体制の追求をめざしています。

講師：原田 美織さん
（公財）ハイパーネットワーク社会研究所 主任研究員

民間企業等を経て、2009年から現在の研究所に在籍。
中小企業庁委託の人権啓発活動支援事業「情報モラル普及啓発」の企画運営に従事。
全国でのセミナー開催や情報モラルに関する教材を制作。

第7回

平成29(2017)年 1月19日(木)13:30～15:30

場所：マリンホール（沖洲マリンターミナルビル2階）

「障がい者の人権」

テーマ　**「障害者差別解消法」を学んで生かそう**

2016年４月に施行された障害者差別解消法は、障害のある人を排除してきたまちのあり方や制度、偏見など、「社会的障壁」をなくしていこうとするものです。京都府の条例づくりの運動に事務局員として関わった経験から、差別をなくすとはどういうことか、「合理的配慮」とは何か、私たちは何ができるのかを、実例を通してわかりやすくお話します。

講師：松波 めぐみさん
大阪市立大学非常勤講師

1999年から大阪大学大学院で障害学等を研究。08年同大学院博士後期課程単位取得。現在、数大学の非常勤講師のほか（公財）世界人権問題研究センター研究第五部嘱託研究員。専門は人権教育、教育社会学、障害学。

第8回

平成29(2017)年 2月16日(木)13:30～15:30

場所：マリンホール（沖洲マリンターミナルビル2階）

「様々な人権」

テーマ　**「歩く、聞く、話す」ー依存症について考える**

香川・徳島DARCは、民間の薬物・アルコール依存症リハビリ施設です。依存症という病気から回復したいと願う仲間たちに、依存症リハビリプログラム（グループミーティングやウォーキング等の運動プログラム）と、共同生活（入寮）による生活支援を提供しています。また、学校や地域、行政機関、病院等で薬物乱用防止教育や体験談を主としたメッセージ・講演活動を行っています。

講師：村上 亨さん
香川・徳島DARC〈ダルク〉代表

13歳で初めて薬物と出会う。以降、薬物依存症に陥る。30歳頃から３度服役を経験する。刑務所出所後、北九州でDARCと出会い、薬物依存症からの回復が始まる。2011年香川DARC設立。13年徳島DARC設立。